

新商品  
情報

技術革新がもたらす、優れた多機能土壌管理シート

「(仮称)Silicone surface (特許出願中)」新発売

開発の背景

インフラ周辺の法面に課題とされていた二次災害予防や雑草管理について、高齢化による担い手不足、除草剤の近隣への悪影響、およびランニングコストの削減といった課題に基づき、新しい設計を行いました。これにより「(仮称)Silicone surface」を敷設することで、防草効果もあり、資材廃棄の減少や耐用年数を伸ばしつつ品質保持も可能になり、土木業界のニーズに応えることが出来ました。



これまでにない高い耐久性!  
耐熱性・耐寒性にも優れ、環境にもやさしいシート!

シリコン素材に独自の特殊加工を付加することで、ほどよい透水機能を付与することに成功!土壌流出と風化も抑制、雑草管理にも効果的です。

シリコン素材は高い耐久性と耐熱性を保持、さらに高温でも燃焼しにくいので危険性が低く、耐寒性にも優れています。屋外に敷設しても形状や品質変化が見られないことが大きな特長です。

※敷設方法は従来通りのため、特別な技術は要しません。  
※シリコンとは地球資源に配慮した、環境にやさしい素材です。シリコンの主成分であるケイ素は、地表近くに存在する元素の中で酸素に次いで2番目に多く、枯渇する心配のない元素と言えます。

【商品概要】

入数/幅1.5m×長さ15m(表:グレー・裏:ホワイト)  
材質/表面:シリコン、裏面:ポリエステル

【表面】  
シリコン素材

【裏面】  
ポリエステル不織布

くわしい商品の説明はこちらから!  
ぜひご覧ください!



小泉製麻グループの今を読む

K TIMES

vol. 17



ボクが  
紹介します!

小泉製麻  
マスコットキャラクター  
「こいちゃん」

安定的な商品供給を担う、縁の下の力持ち

加西物流センターの全貌

日本や世界の各地から入荷した商品を、間違いなく出荷する。  
当然なことだからこそ、実は見えない苦労や努力が隠れています。  
配送の拠点には、確かな物流のプロたちが存在しています。



# まるで立体パズル?! 倉庫業務のあれこれ

社内外から入荷した商品を保管し、必要に応じて加工、そして発送。その作業内容は、まるで高難度な立体パズルに例えられるほど。物流センターではどのような作業が行われているのかをご紹介します!



## VAN出し(デバン)

「VAN出し」とは、英語の「Devanning(デバンニング)」に由来する言葉で、海外から資材等を輸入するコンテナから荷物を降ろすことを意味します。輸入コンテナは港で通関後にトレーラーで運ばれて来ます。コンテナの扉はボルトシールと呼ばれる鉄製の鍵で施錠されていますので、それを専用のカッターで切断し、開封してから荷物を降ろします。荷物は他の商品と同様に検品され、それぞれの倉庫に収められます。



## 倉庫入荷・受入検査

仕入先や自社工場(岸和田)から、さまざまな商品が入荷します。検品後は、各倉庫に格納します。天候による影響にも迅速に対応します。



### TOPICS

#### 検査とは…

入荷予定商品と現物に違いがないか確認を行う作業です。基本的に目視確認ですが、最近はバーコード照合も増え簡便化しています。



## 受注処理

### ▶ 出荷手配

各拠点から送られてきた注文は、営業アシスタント(CSセンター)が一括処理。商品在庫を把握し、出荷手配をします。



### ▶ 伝票処理

CSセンターから、注文を受けると同時に出荷依頼書の送り状と荷札を発行。瞬時に運送会社の選定、リードタイム、効率化など考え出荷しています。繁忙期には伝票が止まらないほど。出荷事務はとても重要な役割を担っています。



### ▶ ピッキング

出荷伝票を元に倉庫から商品を集めてくることをピッキングと言い、伝票に記載されているNo.(商品の住所)に商品を取りにいきます。担当者は、商品の保管場所を把握しているため、スピーディーに集荷作業を行います。



### TOPICS

#### 出荷キャンセルは、やっぱり大変…

発送後のキャンセルや返品は、梱包も傷むため、再梱包のやり直しがあり、とても大変です。



## わたしたちが、加西物流センターを支えています!



### TOPICS

#### 安全面を考慮して 女性もフォークリフト免許取得!!

現在フォークリフトを動かせるのは5名。中には「繁忙期の補助になれば」と自ら免許を取得した女性スタッフも! 運転知識を得ることは、安全面でとても重要。一番の安全対策です。



## 出荷準備・出荷検品



### ▶ 出荷準備

ピッキングした商品は、運送会社毎に指定場所に配置することで、効率良く集荷ができます。



### ▶ 出荷検品

出荷前は、出荷担当員と事務担当員のダブルチェックは、欠かせません。ミス・ロスを防ぐため、慎重に確認します。

### TOPICS

#### 2024年問題の影響はここにも…

最近では運送会社も効率化を図っているため、集荷便数が減るなど、当日出荷が難しくなっています。今後は、ますます厳しくなります。



## 半製品から商品へ

配送業務の他にも、半製品の黄麻にシュリンク包装し、箱詰め作業をし、商品にするための加工も行います。



## 棚入れ

棚入れは、一番時間が掛かる作業です。検品後の商品は、出荷時の効率を考え、在庫散在を防ぐため、1アイテムは同じ棚に保管します。格納場所のナンバリングは、棚入れ担当者が決定。チャーター便などは、事前に入荷商品の数量、商品を把握しているため、格納場所の確保が可能です。



在庫している保管棚に入荷商品が入らない場合は、商品の入れ替え作業をして、1アイテム毎に棚入れします。倉庫を立ち回りながらの作業は、まるで立体パズルのよう。ばっちり決まればこれ以上ない喜びです!

## 兵庫県加西市って、こんなところ…

加西市は兵庫県の南部、播磨平野のほぼ中央に位置。田園地帯が広がり、農業も盛んで、大型植物園である兵庫県立フラワーセンターも有しています。また寺社や史跡など歴史的スポットも多く存在。さらに「気球の飛ぶまち」としても有名で、稲刈りが終わった11月から田植え前の5月は飛行シーズンとして全国から多くの気球チームが訪れます。



画像提供: (一社)加西市観光協会



最近では個人ユーザーへの発送も増え、宅配使用の梱包も多くなりました。